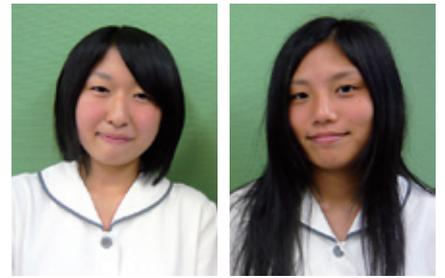


ふるさとを知る、伝える

ふゆき……特定非営利活動法人「ふるさと小松検定」+ 事務局 長

なつき……特定非営利活動法人「ふるさと小松検定」副事務局 長

いしかわけんりつ こまつしょうぎやうこうこう
石川県立小松商業高校3年



なつき

ふゆき

Q: 特定非営利活動法人「ふるさと小松検定」(以下、「小松検定」)のメンバーになったきっかけは何ですか？

ふゆき: 1年生と2年生のとき、「ふるさと小松検定探訪ツアー」という、小松商業高校の生徒が企画して地元の人たちに小松の名所旧跡を案内する活動に参加しました。それまであまり知らなかった小松のことを知ることができて、とてもおもしろい経験でした。それで、3年生になるときに、「小松検定」に参加することにしました。

なつき: わたしは、先輩たちから「小松検定」の話聞いて、地域の人と交流できるのがおもしろそうだと思います。「小松検定」に参加してもっと地域の人と関わってみたいと思いました。

ふゆき: 「小松検定」の事務局長は、先生にすすめられて引き受けました。これまでも、生徒会の会計をやったことがあります。事務局長の仕事は大変そうだし、ちょっと悩んだんですけど、こんな経験はなかなかできないと思って、やってみることにしました。

なつき: わたしも先生に誘われました。悩んだんですけど、副事務局長になったら地域の人とさらに関わることができると、自分も成長できるんじゃないかと思って引き受けました。

ふゆき: いろんなことを頼まれやすいんですよ、二人とも！

なつき: そういう顔してるんじゃないですかね(笑)。ふゆきさんはしっかりしていて、頼りになって、とてもおもしろい。いろんな面で助けられています。

ふゆき: なつきさんは、わたしのことをすごく甘やかしてくれるんですよ(笑)。わたしがなにか作業をしていて「できな〜い」って言うと、すぐ「わたしがやるよ〜」と言って助けてくれるんです。

Q: どういう活動をしていますか？

ふゆき: 事務局はおもに、ポスターやちらし・問題を作成する班と、ウェブサイト作りをする班に分かれています。11月に検定試験があるので、問題作成班はいま問題作りをしています。わたしたちは、二人ともウェブサイト制作班で、いまはウェブサイトの作り方を勉強しているところです。

なつき: ほかに、今年の検定試験の問題のネタを探しに出かけたりもします。この前は、小松駅の近くに残っている町家(写真参照)を訪ねて、町家保存会の人に説明してもらいました。わたしたちは事務局長と副事務局長なので、県庁などに提出する事業報告書や会計書類なども作ります。それから、地元の新聞の取材を受けたりもします。特定非営利活動法人の歴史や意義、運営については、学校の授業でも勉強しています。



町家は、江戸時代から昭和の戦前にかけて建てられた、商人や職人の住宅。
<http://www.city.komatsu.lg.jp/pre/machiya/k-koma-index.html>

Q: 二人は「小松検定」のどの級をもっているんですか？

二人: 1年生と2年生のときに初級を受けましたけど、2回とも落ちました！(爆笑)先生たちでもなかなか中級に受からないくらい難しいんです。それに、ちょうど簿記や情報、ワープロ、旅行業務など、就職に有利になる資格試験の時期と重なったので、「小松検定」はあまり勉強もしないで受けちゃったんです。

Q: 「小松検定」の活動をしていて大変なことってありますか？

ふゆき: ウェブサイトをつくるためのタグを覚えるのがすごく大変です！同じようなタグがいくつもあって、ひとつ覚えたとと思ったらすぐにひとつ忘れちゃうんです。特定非営利活動法人の書類作りも大変ですけど、ほとんどなつきさんが書いてくれて、わたしはハンコを押すだけなので……(笑)間違えずに、きれいにハンコを押すのもけっこう難しいですよ！

なつき: 大変なのは、やっぱり書類作りです(笑)。先生に教

えてもらいながら作るんですけど、書類を作るのは初めてだし、正式な書類なので文章も難しいし、書くこともたくさんあって、本当に大変でした。でも、今ではずいぶん慣れました！

Q: じゃあ、おもしろいことは何ですか？

ふゆき: わたしは、さっきなつきさんが言った町家見学がおもしろかったです。家の柱や壁のクギを、ちょっとした飾りもで隠したりしていて、そういう工夫のしかたがとてもおしゃれだと思いました。いろいろな人の意見が聞けるのも楽しいです。たとえば、授業を受けない先生とは普段は話す機会がないですが、「小松検定」をとおして、いろいろな先生の考え方とか人となりを知ることができて、親しみを感じられるようになりました。

なつき: やっぱり、「ふるさと小松探訪ツアー」がおもしろかったです。これまで知り合う機会がなかった地元の人たちと親しくなることができました。ツアーの前には、学校の近所や駅前でピラを配って地元の人たちの参加をよびかけたりしました。小松のどこを案内したらみんなに楽しんでもらえるか、いろいろ考えるのもおもしろかったです。去年のツアーには、地元の人たちだけでなく、学校交流をしている大阪の高校の生徒10人も参加したんです。わたしたちも、かれらが企画する大阪ツアーに参加して、大阪のコリアンタウンとか牧場に連れて行ってもらいました。「小松検定」のおかげで、普通に学校生活を送っているだけでは経験できないようなことを経験できると思います。

Q: これからどういことをしていきたいですか？

ふゆき: お祭りなどで、地域の人に「小松検定」を宣伝するのが楽しみです。小松検定クイズなどをやって、たくさんの人を楽しませたいです。これから11月の試験に向けて、事務局全員でいっしょに作業をすることが多くなると思います。事務局長として、みんなが意見を言いやすい雰囲気をつくりたいと思います。みんなが楽しくできるように、普段から人の意見をちゃんと聞くようにしています。

なつき: わたしも、お祭りなどで小松の人たちと交流するのが楽しみです。副事務局長として、ふゆきさんをしっかりサポートしたいと思っています！（笑）

ふゆき: 甘やかされてますねー（笑）。

Q: 高校卒業後はどういことをしたいですか？

ふゆき: わたしは簿記が好きなので、経理や会計の仕事がしたいです。たとえば、会計の精算表は答えを出すために

たくさん計算をしなくてはいけなくて、ものすごく手間と時間がかかります。でも、答えをすばっと出せたときは、とても気持ちがいいんです！ 地元で仕事をしたいと思っています。県外は、ちょっとこわいです。大阪はまだ身近な感じがするけど、東京はちょっとこわい。できれば、これまで自分がずっと生活してきた土地にいたいです。

なつき: わたしは、県外に出ているところで友だちをつくってみたいなあと思った時期もありますけど、今は地元で就職したいと思っています。わたしも、都会は人が冷たいイメージがあって、ちょっとこわいなあ。金融系の会社で働きたいと思っています。もし銀行で働くことになったら、地域の人も話す機会が増えると思うので、地元のことがもっとわかるようになるんじゃないかなあと思っています。

（取材は、2009年8月に行いました。）

+ “故乡小松検定”

始于2005年的“故乡小松検定”活动，主要由小松商业高中三年级的学生们负责组织实施。这一活动的目的是：①发掘故乡小松的亮点，传承给下一代；②开展了解故乡，向故乡学习的活动；③加深对故乡的感情，推进地区内人与人之间的联系。2008年，“故乡小松検定”成为“特定非营利活动法人”（非营利组织）团体。每年举办一次検定考试，级别分为初级、中级和高级。截至2008年为止已举行了4次考试，共有7,042人参加，其中2,756人合格。事務局还专门编写了考试用教材和习题集，除了进行考试的策划、组织和宣传外，还面向当地居民举办IT讲座。现在，事務局共有16名成员。
公式网站：http://www.tvk.ne.jp/~kshs/



わたしの好きなもの



好きなことば

ふゆき: 温故知新
昔のものがあるから今のものがあると思います。
なつき: 十人十色
ひとりひとり個性があって、みんな違うという考え方が好きです。

好きな食べもの

ふゆき: カレー
なつき: もも 桃

好きなこと

ふゆき: 読書
なつき: 音楽を聴くこと

